

冬期の転倒災害防止のポイント

積雪・凍結などの転倒災害のリスクが高くなる冬期間は、以下の対策が特に重要です。

◇天気予報に気を配る

寒波が予想される場合などには、労働者に周知し、早めの対策を実施しましょう。

◇時間に余裕をもって歩行、作業を行う

天候による交通機関の遅れが見込まれる場合は、時間に余裕をもって出勤するようにし、落ち着いて作業をするように心がけましょう。屋外では、小さな歩幅で靴の裏全体を付けて歩くようにしましょう。

◇駐車場の除雪・融雪は万全に、出入口などに注意する

駐車場内、駐車場から職場までの通路を確保するため、除雪や融雪剤の散布を行いましょう。また、出入口では転倒防止用マットを敷き、夜間は照明設備を設けて明るさ（照度）を確保しましょう。



<ヒートマットの設置例>

◇職場の危険マップの作成、適切な履物、歩行方法などの教育を行う

職場内の労働者が転倒の危険を感じた場所の情報を収集し、労働者への教育の機会に伝えるようにしましょう。また、作業に適した履物、雪道や凍った路面上での歩き方を教育しましょう。

転倒防止に役立つ靴と保護具を活用しましょう

雪道を安全に歩くには、靴選びが大事！

<靴選びの4つのポイント>

- ▶ 防滑性：靴底が滑りにくいこと（やわらかいゴム底のものは、ゴムがすり減っていないかもしっかり確認しましょう）
- ▶ 撥水性・防水性：水分が靴の中に入り込まないこと
- ▶ 保温性：靴の中を温かく保てること
- ▶ サイズ：足のサイズにあった靴を選びましょう！
 - 小さい靴：足指が自由に動かしにくく、バランスを崩したときの踏ん張りが効かなくなる。
 - 大きな靴：歩行のたびに足が前後斜めに動いて、靴のつま先やかかとが足の動きに追従できなくなる



柔らかいゴムを使った靴底は、路面に対する密着力が強いため滑りにくくなっています。

参考サイト

1 雪道で「転ばないコツ」を身につけましょう！

札幌発！雪道を安全・快適に歩くための総合情報サイト

ウインターライフ推進協議会へのリンク → <http://tsurutsuru.jp/>



2 (独)労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所では、滑りによる転倒災害を防止するための映像教材を作成し、公開していますので、参考にしてください。



映像教材は↓から閲覧することができます。

http://www.jniosh.go.jp/publication/houkoku/houkoku_2016_05.html



あなたの職場は大丈夫？転倒の危険をチェックしてみましょう！

転倒災害防止のためのチェックシート

チェック項目		<input checked="" type="checkbox"/>
1	身の回りの整理・整頓を行っていますか 通路、階段、出口に物を放置していませんか	<input type="checkbox"/>
2	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、 その都度取り除いていますか	<input type="checkbox"/>
3	段差のある箇所や滑りやすい場所などに 注意を促す標識をつけていますか	<input type="checkbox"/>
4	安全に移動できるように十分な明るさ（照度） が確保されていますか	<input type="checkbox"/>
5	ヒヤリハット情報を活用して転倒しやすい 場所の危険マップを作成し、周知していますか	<input type="checkbox"/>
6	職場巡視を行い、通路、階段などの状況を チェックしていますか	<input type="checkbox"/>
7	荷物を持ちすぎて足元が見えないことは ありませんか	<input type="checkbox"/>
8	ポケットに手を入れながら、人と話しながら、 携帯電話を使いながら歩いていませんか	<input type="checkbox"/>
9	作業靴は、滑りにくさを考えて選んでいますか	<input type="checkbox"/>
10	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を 取り入れていますか	<input type="checkbox"/>

チェックの結果はいかがでしたか？ 問題のあったポイントが改善されれば、きっと作業効率も上がって働きやすい職場になります。

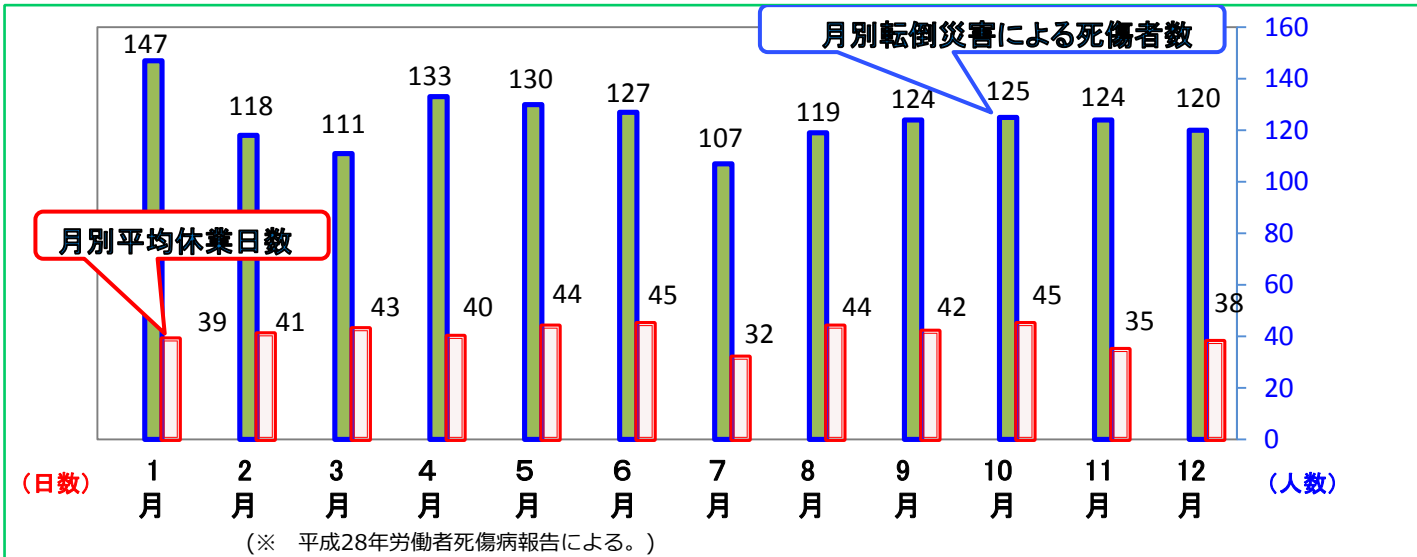
どのように改善するか「安全委員会」などで、全員でアイディアを出し合いましょう！

STOP！転倒災害プロジェクト神奈川

 神奈川労働局・各労働基準監督署

神奈川局内の死傷者数が最も多い災害は **転倒災害** で、平成28年の **転倒災害1件の休業日数** は平均で **40.2日** になっています。

平成28年の神奈川局の転倒災害による月別発生件数と月別平均休業日数



あなたの職場では、このような災害が起こっていませんか？

(平成 28～29年冬季間に神奈川県内で発生した主な「転倒」災害)

業種	被災者年齢 (経験年数)	傷病部位、傷病名	休業見込日数	災害の概要
製造業	40歳代 (約12年)	すね打撲	5日間	朝、出勤時に玄関の階段を上ったところ、階段に積もっていた雪で足を滑らせ倒れた際に、階段にすねを強打した。
製造業	40歳代 (約3年)	胸椎骨折	2ヶ月	出勤して社内の廊下を歩行中、靴の底に雪が付着していて滑って尻もちをついたところ、胸椎を圧迫骨折した。
運送業	40歳代 (約2年)	肋骨骨折	2ヶ月	荷卸しのため、車両後部へ移動したところ、路面が濡れて積雪しており、滑って脇腹から倒れ、肋骨を骨折した。
小売業	60歳代 (約25年)	手首骨折	2ヶ月	勤務先店舗で冷凍庫に入ろうとしたところ、冷凍庫の前に氷が張っているのに気が付かず、転倒して床に手を着いたところ手首を骨折した。
卸売業	30歳代 (約5ヶ月)	肘骨折	6日	出張先で凍った路面で滑って転倒し、両手を着いたところ片肘を骨折した。
接客娯楽業	40歳代 (約9ヶ月)	足首骨折	1ヶ月半	早朝、店舗敷地内の洗濯場へ移動中、薄暗く路面が凍結していることに気が付かず、足を滑らせて転倒したところ、足首を骨折した。
ビルメンテナンス業	70歳代 (約4年)	手骨折	3ヶ月	清掃終了後、キャリーカーを引いて移動中、マンホールの上に積もった雪に足を取られ転倒。その際、手を強打し骨折した。

2月は転倒災害防止の重点取組期間です！

STOP！転倒災害プロジェクト神奈川

～あせらない 急ぐ時ほど落ち着いて～

転倒災害は、どのような職場でも発生する可能性があります。職場での転倒の危険性は、働くすべての人が問題意識を持って原因を見つけ、対策をとることで減らすことができます。「転倒」という身近なテーマから職場の安全意識を高め、安心して働ける職場環境の実現に向けて、神奈川労働局・県内各労働基準監督署でも、『STOP！転倒災害プロジェクト神奈川』として各種取り組みを実施しており、特に積雪や凍結による転倒災害の多い2月と全国安全週間の準備月間である6月を重点取組期間としております。

また、神奈川労働局では、

「ころばNICEかながわ体操」

を動画で作成し、ホームページでも公開しておりますので、転倒予防体操として活用して下さい。

動画へ ⇒



※ 再生できない場合があります。

【主唱者】

厚生労働省、中央労働災害防止協会、建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会

「STOP！転倒災害サイト」をご活用下さい！



転倒災害防止に向けたさまざまな対策の紹介

STOP！転倒

検索

<厚生労働省ホームページ> <職場のあんぜんサイトホームページ>

転倒災害の防止に効果のあった事業場の取組好事例、「危険の見える化」事例等転倒災害防止に役立つ保護具や用具、「4S活動」、「KY活動」などを紹介しています。

転倒危険！



コメント

- ・ 走らない
- ・ 焦らない
- ・ 慌てない

階段の下りはじめ3段と着地前3段に黄色のペンキを塗り転倒防止!!



職員用階段上下3段に黄色のペンキで塗装を施し、注意喚起する対策をとった。



自所属で階段での転倒災害が発生し、他所属でも下りる最初と最後での発生が多いとの事例から対策を考えました。(副店長)



〈塗装後の職員の意見〉

- ・ 塗装してあるので無意識のうちに注意してしまう。
- ・ 塗装箇所へ近づくと急いでも自然にスピードを緩める。
- ・ 塗装箇所を見ると階段で転倒しそうになったことを思い出す。

転倒危険場所を「見える化」しましょう！

(資料出所：中央労働災害防止協会)

↑ 上のステッカーは、厚生労働省「STOP！転倒災害プロジェクト」のHPからダウンロードできます。